

B. 研究方法：調査の方法、実施、調査票について

(1) 調査の方法

① 調査対象

この調査は、神奈川県、広島県尾道市、千葉県市川市、福島県会津若松市、岩手県北上市の居宅介護支援業務に従事する介護支援専門員を対象とした。

② 調査の実施方法

調査の実施にあたっては、平成 18 年 10 月 1 日時点において指定を受けている全ての居宅介護支援事業所を対象に、調査票を郵送した。

1 事業所あたり調査票を 2 票ずつ居宅介護支援事業所の管理者あてに依頼状とともに郵送し、管理者から、調査対象事業所に勤務する介護支援専門員に手渡すよう依頼した。

記入済み調査票の回収については、返信用封筒を同封し、介護支援専門員が調査業務の委託を受けた社団法人かながわ福祉サービス振興会へ直接返送するよう依頼した。

③ 調査期間

本調査は、平成 18 年 11 月 9 日から 11 月 30 日までの間に設定した。なお、到着期限の延長や催促状の送付は行わなかった。

④ 調査関連業務の委託

調査票は、主任研究者、分担研究者、研究協力者が設計した。調査票の編集、郵送、回収、検票、アフターコーディング、基礎集計等の調査実務については、社団法人かながわ福祉サービス振興会に委託した。また、コンピューターへのデータ入力業務は株式会社富士通ワイエフシーに委託した。

⑤ 調査実施結果の概要

調査実施結果は、以下のとおりである。

- 配布済み調査票数 3,840 票
- 有効回収票数 1,487 票
- 有効回収率 38.7%

回収率は、調査地によってかなり差がある。神奈川県は 40.0%、広島県尾道市は 30.0% であった。一方、福島県会津若松市は 24.2%、千葉県市川市は 25.4%、岩手県北上市は 22.5% であった。

(2) 調査票の構成

① 調査票設計の基本方針

調査票の設計に際しては、以下の点を基本方針とした。

○ サービス担当者会議の実態の把握

この研究の目的である「多職種間連携のモデル構築」のために、サービス担当者会議の実態を把握しうるデータの収集を目指した。そのために、サービス担当者会議に関連しない項目はできるだけ減らした。

○ 比較可能性の考慮

モデルの一般化を図るためには、地域特性や事業所特性、個人特性の相違に基づいた仮説に従った比較分析が可能でなければならない。そのため、基本属性において、介護支援専門員個人の情報項目とともに事業所の情報項目を精選した。

○ サービス担当者会議開催の課題の把握

一般化されたモデルの実務的運用提言を見すえた場合、サービス担当者会議の開催の促進要因と制約要因の把握が重要な課題となる。そこで、介護支援専門員の意識を問う項目を作成した。意識に関する項目の設計に際しては、ケアマネジメント業務（ここではサービス担当者会議業務）のみならず、分業意識や職務満足感をも含むものとし、モデルの運用面での課題を明らかにするように考慮した。

○ 記録等を検索しなければならない項目の除外

介護支援専門員の回答の負担を減らすために、各種記録類を検索・集計しなければ回答できない項目は最小限にとどめた。こうして、回収率の向上を図った。

○ 分析上、意味がない項目の除外

平成 17 年度調査の結果を踏まえ、質問項目を再吟味したうえで、一部の質問については修正もしくは削除をした。

○ 制度改正への対応

平成 18 年 4 月 1 日より、介護保険法の改正法が全面的に施行された。そのため、同改正法により設置された地域包括支援センターに関する項目をあらたに設けた。

② 調査票設計の経過

調査票の設計は主任研究者、分担研究者、研究協力者が行ったが、介護支援専門員に対する調査・研究の蓄積がある特定非営利活動法人神奈川県介護支援専門員協会から調査票原案の点検、助言を受けた。また、社団法人かながわ福祉サービス振興会から、調査実施上の助言を受けた。

③ 調査項目

調査項目は、以下のとおりである。

- 基本属性（介護支援専門員個人、勤務先の事業所）
- サービス担当者会議の開催実績（回数、参加者、検討内容、場所、時間）
- サービス担当者会議の開催上の課題（困難な点、不参加理由）

- サービス担当者会議に対する介護支援専門員の意識
(回数、参加者、検討内容、場所、時間、促進要因、開催の利益)
- 地域包括支援センターの役割に対する評価（平成 18 年度調査で新設）

C. 研究結果：調査結果の概要

および

D. 考察

本章では、調査結果の概要を解説する。有効回収票全体（1,487 票）の集計結果とともに介護支援専門員が勤務する事業所の所在地別集計結果の解説から、調査結果の傾向を報告する。

なお、集計および作表については社団法人かながわ福祉サービス振興会の協力を受けた。

(1) 基本属性

① 介護支援専門員が勤務する事業所の所在地（F1）

表1 介護支援専門員が勤務する事業所の所在地

神奈川県	1,397 ケース 93.9 %
尾道市	30 ケース 2.0 %
市川市	36 ケース 2.4 %
会津若松市	15 ケース 1.0 %
北上市	9 ケース 0.6 %
合計	1,487 ケース 100.0 %

介護支援専門員が勤務する事業所の所在地については、「神奈川県」が 1,397 ケース（93.9%）と最も多く、他の所在地は 0.6～2% 台である。

② 事業所の開設主体（F2）

表2 事業所の開設主体（単数回答）

		F2 事業所の開設主体(単数回答)										合計
		1 自治体	2 協社会議福祉会 社	3 く社人社会 法へ会 人社福 を会社 ～除福祉	4 医療法人	5 財社 団団 法法 人	6 協同組合	7 営利法人	8 活特定非 動法営 人利	9 その他	不明	
F1 調査地	神奈川県	4 0.3%	50 3.6%	384 27.5%	204 14.6%	62 4.4%	53 3.8%	523 37.4%	89 6.4%	21 1.5%	7 0.5%	1397 100.0%
	尾道市	0 0.0%	2 6.7%	7 23.3%	13 43.3%	2 6.7%	0 0.0%	6 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	30 100.0%
	市川市	0 0.0%	0 0.0%	10 27.8%	12 33.3%	3 8.3%	0 0.0%	10 27.8%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	36 100.0%
	会津若松市	0 0.0%	3 20.0%	2 13.3%	5 33.3%	2 13.3%	0 0.0%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
	北上市	0 0.0%	0 0.0%	4 44.4%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	4 0.3%	55 3.7%	407 27.4%	237 15.9%	69 4.6%	53 3.6%	543 36.5%	91 6.1%	21 1.4%	7 0.5%	1487 100.0%

【全体の傾向】

介護支援専門員が勤務している事業所の開設主体を見ると、もっとも多い開設主体は「営利法人」が36.5%であり、次いで「社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)」が27.4%、「医療法人」が15.9%となっている。他の開設主体は、いずれも10%に満たない。

【所在地別の傾向】

介護支援専門員が勤務している事業所の開設主体を所在地別に見ると、神奈川全県は「営利法人」が37.4%ともっとも多く、次いで「社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)」が27.5%、「医療法人」が14.6%となっている。これは全体の傾向と同じになっている。

尾道市では、「医療法人」が43.3%を占め、次いで「社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)」が23.3%、「営利法人」が20.0%となっている。

③ 事業所における介護支援専門員の人数【常勤・専従】(F3①)

表3 事業所における介護支援専門員の人数【常勤・専従】

		F3① 事業所の介護支援専門員の人数(常勤・専従)							合 計
		0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人 以上	不 明	
F 1 調 査 地	神 奈 川 全 県	94 6.7%	459 32.9%	336 24.1%	168 12.0%	90 6.4%	89 6.4%	161 11.5%	1397 100.0%
	尾 道 市	0 0.0%	4 13.3%	13 43.3%	5 16.7%	3 10.0%	2 6.7%	3 10.0%	30 100.0%
	市 川 市	2 5.6%	9 25.0%	7 19.4%	3 8.3%	5 13.9%	7 19.4%	3 8.3%	36 100.0%
	会 津 若 松 市	1 6.7%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	5 33.3%	3 20.0%	15 100.0%
	北 上 市	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	9 100.0%
	全 体	97 6.5%	474 31.9%	359 24.1%	179 12.0%	102 6.9%	104 7.0%	172 11.6%	1487 100.0%

【全体の傾向】

事業所における常勤・専従の介護支援専門員の人数を見ると、「1人」が31.9%でもっとも多く、次いで「2人」が24.1%となっており、1～2人の事業所が半数を超えている。

【所在地別の傾向】

事業所における常勤・専従の介護支援専門員の人数を所在地別に見ると、神奈川全県は「1人」が32.9%ともっとも多く、次いで「2人」が24.1%となっており、1～2人の事業所が半数を超えている。これは全体の傾向と同じになっている。

一方、尾道市は「2人」がもっとも多く43.3%を占めている。次いで「3人」が16.7%となっている。

④ 事業所における介護支援専門員の人数【非常勤・専従】(F3②)

表4 事業所における介護支援専門員の人数【非常勤・専従】

		F3② 事業所の介護支援専門員の人数(非常勤・専従)							合 計
		0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人 以 上	不 明	
F 1 調 査 地	神 奈 川 全 県	337 24.1%	289 20.7%	105 7.5%	48 3.4%	12 0.9%	8 0.6%	598 42.8%	1397 100.0%
	尾 道 市	7 23.3%	8 26.7%	2 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.7%	11 36.7%	30 100.0%
	市 川 市	8 22.2%	15 41.7%	2 5.6%	1 2.8%	0 0.0%	1 2.8%	9 25.0%	36 100.0%
	会 津 若 松 市	3 20.0%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 66.7%	15 100.0%
	北 上 市	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 44.4%	9 100.0%
	全 体	357 24.0%	315 21.2%	111 7.5%	49 3.3%	12 0.8%	11 0.7%	632 42.5%	1487 100.0%

【全体の傾向】

事業所における非常勤・専従の介護支援専門員の人数を見ると、「0人」が24.0%でもっとも多く、次いで「1人」が21.2%となっている。

【所在地別の傾向】

事業所における非常勤・専従の介護支援専門員の人数を所在地別に見ると、神奈川県は「0人」が24.1%でもっとも多く、次いで「1人」が23.3%となっている。尾道市では「1人」が26.7%でもっとも多く、次いで「0人」が23.3%となっている。

神奈川県、尾道市ともに、非常勤・専従の介護支援専門員の人数が、0～1人の事業所が20%台で、他は10%以下になっており、非常勤でケアマネジメント業務に専従している介護支援専門員は少ないことがわかる。

⑤ 事業所における介護支援専門員の人数【常勤・兼務】(F3③)

【全体の傾向】

事業所における常勤・兼務の介護支援専門員の人数を見ると、「1人」が33.3%ともっとも多く、次いで「0人」が16.3%となっている。

【所在地別の傾向】

事業所における常勤・兼務の介護支援専門員の人数を所在地別に見ると、神奈川県は「1人」が33.5%ともっとも多く、次いで「0人」が16.1%となっている。尾道市は「1人」が36.7%ともっとも多く、次いで「2人」が23.3%、「0人」が20.0%となっている。

表5 事業所における介護支援専門員の人数【常勤・兼務】

		F3③ 事業所の介護支援専門員の人数(常勤・兼務)							
		0	1	2	3	4	5人以上	不明	合計
		人	人	人	人	人	人	人	人
F1 調査地	神奈川県	225 16.1%	468 33.5%	132 9.4%	49 3.5%	16 1.1%	23 1.6%	484 34.6%	1397 100.0%
	尾道市	6 20.0%	11 36.7%	7 23.3%	1 3.3%	1 3.3%	0 0.0%	4 13.3%	30 100.0%
	市川市	6 16.7%	11 30.6%	5 13.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	13 36.1%	36 100.0%
	会津若松市	3 20.0%	2 13.3%	0 0.0%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%	5 33.3%	15 100.0%
	北上市	2 22.2%	3 33.3%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	9 100.0%
	全体	242 16.3%	495 33.3%	147 9.9%	52 3.5%	19 1.3%	25 1.7%	507 34.1%	1487 100.0%

⑥ 事業所における介護支援専門員の人数【非常勤・兼務】(F3④)

表6 事業所における介護支援専門員の人数【非常勤・兼務】

		F3④ 事業所の介護支援専門員の人数(非常勤・兼務)							
		0	1	2	3	4	5人以上	不明	合計
		人	人	人	人	人	人	人	人
F1 調査地	神奈川県	379 27.1%	90 6.4%	35 2.5%	18 1.3%	15 1.1%	13 0.9%	847 60.6%	1397 100.0%
	尾道市	9 30.0%	4 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	16 53.3%	30 100.0%
	市川市	11 30.6%	3 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 61.1%	36 100.0%
	会津若松市	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 80.0%	15 100.0%
	北上市	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 55.6%	9 100.0%
	全体	406 27.3%	97 6.5%	35 2.4%	18 1.2%	15 1.0%	14 0.9%	902 60.7%	1487 100.0%

【全体の傾向】

事業所における非常勤・兼務の介護支援専門員の人数を見ると、「0人」が27.3%と最も多く、他は10%に満たない。

【所在地別の傾向】

事業所における非常勤・兼務の介護支援専門員の人数を所在地別に見ると、神奈川県は、「0人」が27.1%と最も多く、他は10%に満たない。一方、尾道市は、「0人」が30.0%と最も多く、「1人」が13.3%となっている。神奈川県、尾道市ともに、非常勤職員で他の業務と兼務している介護支援専門員は少ない。

⑦ 回答した介護支援専門員本人の雇用形態・勤務形態（F 4）

表 7 回答した介護支援専門員本人の雇用形態・勤務形態（単数回答）

		F4 雇用形態・勤務形態(単数回答)					合 計
		1 常 勤 ・ 専 従	2 常 勤 ・ 兼 務	3 非 常 勤 ・ 専 従	4 非 常 勤 ・ 兼 務	不 明	
F 1 調 査 地	神 奈 川 全 県	877 62.8%	332 23.8%	142 10.2%	43 3.1%	3 0.2%	1397 100.0%
	尾 道 市	22 73.3%	8 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	30 100.0%
	市 川 市	27 75.0%	6 16.7%	3 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	36 100.0%
	会 津 若 松 市	9 60.0%	5 33.3%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	15 100.0%
	北 上 市	4 44.4%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	全 体	939 63.1%	356 23.9%	145 9.8%	44 3.0%	3 0.2%	1487 100.0%

【全体の傾向】

回答した介護支援専門員本人の雇用形態・勤務形態を見ると、「常勤・専従」が 63.1% ともっとも多く、次いで「常勤・兼務」が 23.9% となっている。

【所在地別の傾向】

回答した介護支援専門員本人の雇用形態・勤務形態を所在地別に見ると、神奈川県は「常勤・専従」が 62.8% ともっとも多く、次いで「常勤・兼務」が 23.8% となっている。一方、尾道市は「常勤・専従」が 73.3% ともっとも多く、次いで「常勤・兼務」が 26.7% となっている。

⑧ 介護支援専門員としての経験年数（F 5）

【全体の傾向】

介護支援専門員としての経験年数を見ると、「1 年以上 2 年未満」が 19.0% ともっとも多く、次いで「6 年以上」が 16.8%、「1 年未満」が 15.3%、「2 年以上 3 年未満」が 15.2% となっている。

【所在地別の傾向】

介護支援専門員としての経験年数を所在地別に見ると、神奈川県は「1 年未満 2 年未満」が 19.3% ともっとも多く、次いで「6 年以上」が 16.8% となっている。尾道市は「6 年以上」が 23.3% ともっとも多く、次いで「4 年以上 5 年未満」が 20.0% となっている。

表8 介護支援専門員としての経験年数（単数回答）

		F5 介護支援専門員としての経験年数(単数回答)							不 明	合 計
		1 年 未 満	2 年 未 満	3 年 未 満	4 年 未 満	5 年 未 満	6 年 未 満	7 年 未 満		
F1 調査地	神奈川県	221 15.8%	269 19.3%	209 15.0%	190 13.6%	130 9.3%	144 10.3%	234 16.8%	0 0.0%	1397 100.0%
	尾道市	1 3.3%	4 13.3%	4 13.3%	4 13.3%	6 20.0%	4 13.3%	7 23.3%	0 0.0%	30 100.0%
	市川市	4 11.1%	5 13.9%	10 27.8%	5 13.9%	3 8.3%	6 16.7%	3 8.3%	0 0.0%	36 100.0%
	会津若松市	0 0.0%	4 26.7%	1 6.7%	1 6.7%	2 13.3%	3 20.0%	4 26.7%	0 0.0%	15 100.0%
	北上市	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	228 15.3%	283 19.0%	226 15.2%	201 13.5%	141 9.5%	158 10.6%	250 16.8%	0 0.0%	1487 100.0%

⑨ 基礎資格（介護支援専門員以外の資格）（F6）

表9 介護支援専門員の基礎資格（複数回答）

		F6 基礎資格(複数回答)														不 明	合 計
		1 医 師	2 歯 科 医 師	3 薬 劑	4 看 護 師	5 富 作 理 語 業 学 聴 療 療 覚 法 士	6 歯 科 衛 生 士	7 柔 道 整 復 師	8 き は さ あ ゆ り ジ マ ン	9 栄 養 士	10 へ ル パ ー	11 介 護 福 祉 士	12 社 会 福 祉 士	13 福 祉 保 健 士	14 そ の 他		
F1 調査地	神奈川県	1 0.1%	3 0.2%	23 1.6%	336 24.1%	5 0.4%	64 4.6%	9 0.6%	36 2.6%	58 4.2%	361 25.8%	684 49.0%	110 7.9%	12 0.9%	122 8.7%	7 0.5%	1397 100.0%
	尾道市	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%	3 10.0%	3 10.0%	10 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.0%	1 3.1%	30 100.0%
	市川市	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 33.3%	1 2.8%	3 8.3%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	6 16.7%	12 33.3%	6 16.7%	2 5.6%	2 5.6%	1 2.8%	36 100.0%
	会津若松市	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	8 53.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	4 26.7%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	15 100.0%
	北上市	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	2 0.1%	3 0.2%	24 1.6%	375 25.2%	6 0.4%	67 4.5%	10 0.7%	37 2.5%	61 4.1%	372 25.0%	715 48.1%	117 7.9%	14 0.9%	129 8.7%	8 0.5%	1487 100.0%

【全体の傾向】

介護支援専門員の基礎資格（介護支援専門員以外の資格）（複数回答）を見ると、「介護福祉士」が48.1%ともっとも多く、次いで「保健師、助産師、看護師」が25.2%、「ホームヘルパー」が25.0%となっている。

【所在地別の傾向】

介護支援専門員の基礎資格（介護支援専門員以外の資格）（複数回答）を所在地別に見ると、神奈川県は「介護福祉士」を保有する介護支援専門員が49.0%とほぼ半数を占めている。一方、尾道市は「保健師、助産師、看護師」が50.0%と半数を占めている。

⑩ 担当利用者数（経過的要介護）（F7①）

【全体の傾向】

介護支援専門員が担当する経過的要介護の利用者数を見ると、「1人～4人」が54.9%でもっとも多く、次いで「0人」が25.0%となっている。

【所在地別の傾向】

経過的要介護の担当利用者数を所在地別に見ると、全体の傾向と同じになっており、神奈川県、尾道市ともに、「1人～4人」がほぼ半数を占めており、続いて「0人」が20%台となっている。

表10 担当利用者数（経過的要介護）

		F7① 担当利用者数(経過的要介護)								
		0人	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～24人	25人以上	不明	合計
F1 調査地	神奈川県	350 25.1%	764 54.7%	66 4.7%	2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	214 15.3%	1397 100.0%
	尾道市	7 23.3%	16 53.3%	2 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 16.7%	30 100.0%
	市川市	10 27.8%	22 61.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 11.1%	36 100.0%
	会津若松市	4 26.7%	6 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 33.3%	15 100.0%
	北上市	1 11.1%	8 88.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	372 25.0%	816 54.9%	68 4.6%	2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	228 15.3%	1487 100.0%

⑪ 担当利用者数（要支援1）（F7②）

表11 担当利用者数（要支援1）

		F7② 担当利用者数(要支援1)								
		0人	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～24人	25人以上	不明	合計
F1 調査地	神奈川県	533 38.2%	492 35.2%	34 2.4%	3 0.2%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.1%	333 23.8%	1397 100.0%
	尾道市	14 46.7%	11 36.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 16.7%	30 100.0%
	市川市	11 30.6%	22 61.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 8.3%	36 100.0%
	会津若松市	6 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	53.3 53.3%	15 100.0%
	北上市	0 0.0%	4 44.4%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	564 37.9%	529 35.6%	38 2.6%	4 0.3%	0 0.0%	2 0.1%	1 0.1%	349 23.5%	1487 100.0%

【全体の傾向】

介護支援専門員が担当する要支援1の利用者数を見ると、「0人」が37.9%と最も多く、次いで「1人～4人」が35.6%となっている。

【所在地別の傾向】

介護支援専門員が担当する要支援1の利用者数を見ると、神奈川県、尾道市ともにそれぞれ「0人」がもっとも多く、それぞれ38.2%、46.7%となっており、次いで「1～4人」がそれぞれ35.2%、36.7%となっている。

⑫ 担当利用者数（要支援2）（F7③）

表12 担当利用者数（要支援2）

		F7③ 担当利用者数(要支援2)								
		0人	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～24人	25人以上	不明	合計
F1 調査地	神奈川県	420 30.1%	654 46.8%	64 4.6%	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	2 0.1%	255 18.3%	1397 100.0%
	尾道市	7 23.3%	16 53.3%	4 13.3%	1 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.7%	30 100.0%
	市川市	4 11.1%	19 52.8%	8 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 13.9%	36 100.0%
	会津若松市	6 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	8 53.3%	15 100.0%
	北上市	1 11.1%	8 88.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	438 29.5%	697 46.9%	76 5.1%	2 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	3 0.2%	270 18.2%	1487 100.0%

【全体の傾向】

介護支援専門員が担当する要支援2の利用者数を見ると、「1～4人」が46.9%ともっとも多く、次いで「0人」が29.5%となっている。

【所在地別の傾向】

介護支援専門員が担当する要支援2の利用者数を見ると、神奈川県、尾道市ともに、「1～4人」がもっとも多く、それぞれ46.8%、53.3%となっており、次いで「0人」がそれぞれ30.1%、23.3%となっている。

⑬ 担当利用者数（要介護1）（F7④）

【全体の傾向】

介護支援専門員が担当する要介護1の利用者数を見ると、「5～9人」が33.2%ともっとも多く、次いで「10～14人」が30.8%となっている。

【所在地別の傾向】

介護支援専門員が担当する要介護1の利用者数を見ると、神奈川県は「5～9人」と「10～14人」が30%台で多く、次いで「15～19人」と「1～4人」が10%台となっている。尾道市は、「5～9人」が46.7%ともっとも多く、次いで「10～14人」が23.3%となっている。

表 1 3 担当利用者数（要介護 1）

		F7④ 担当利用者数(要介護1)								
		0 人	1 ～ 4 人	5 ～ 9 人	10 ～ 14 人	15 ～ 19 人	20 ～ 24 人	25 人 以上	不 明	合 計
F 1 調査地	神 奈 川 全 県	20 1.4%	188 13.5%	458 32.8%	434 31.1%	193 13.8%	25 1.8%	5 0.4%	74 5.3%	1397 100.0%
	尾 道 市	0 0.0%	3 10.0%	14 46.7%	7 23.3%	5 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	30 100.0%
	市 川 市	0 0.0%	6 16.7%	13 36.1%	11 30.6%	5 13.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	36 100.0%
	会 津 若 松 市	1 6.7%	1 6.7%	8 53.3%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	15 100.0%
	北 上 市	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	全 体	21 1.4%	199 13.4%	493 33.2%	458 30.8%	208 14.0%	25 1.7%	5 0.3%	78 5.2%	1487 100.0%

⑭ 担当利用者数（要介護 2）（F 7 ⑤）

表 1 4 担当利用者数（要介護 2）

		F7⑤ 担当利用者数(要介護2)								
		0 人	1 ～ 4 人	5 ～ 9 人	10 ～ 14 人	15 ～ 19 人	20 ～ 24 人	25 人 以上	不 明	合 計
F 1 調査地	神 奈 川 全 県	28 2.0%	315 22.5%	667 47.7%	271 19.4%	27 1.9%	2 0.1%	2 0.1%	85 6.1%	1397 100.0%
	尾 道 市	0 0.0%	4 13.3%	13 43.3%	9 30.0%	1 3.3%	1 3.3%	0 0.0%	2 6.7%	30 100.0%
	市 川 市	1 2.8%	11 30.6%	15 41.7%	8 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	36 100.0%
	会 津 若 松 市	1 6.7%	3 20.0%	4 26.7%	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	15 100.0%
	北 上 市	0 0.0%	3 33.3%	4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	全 体	30 2.0%	336 22.6%	703 47.3%	295 19.8%	28 1.9%	3 0.2%	2 0.1%	90 6.1%	1487 100.0%

【全体の傾向】

介護支援専門員が担当する要介護 2 の利用者数を見ると、「5～9 人」が 47.3%と最も多く、次いで「1～4 人」が 22.6%となっている。

【所在地別の傾向】

介護支援専門員が担当する要介護 2 の利用者数を見ると、神奈川県全県は「5～9 人」が 47.7%と最も多く、次いで「1～4 人」が 22.5%となっている。一方、尾道市は、「5～9 人」が 43.3%と最も多く、次いで「10～14 人」が 30.0%となっている。

⑮ 担当利用者数（要介護3）（F7⑥）

表15 担当利用者数（要介護3）

		F7⑥ 担当利用者数(要介護3)								
		0人	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～24人	25人以上	不明	合計
F1 調査地	神奈川県	44 3.1%	587 42.0%	594 42.5%	74 5.3%	6 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	92 6.6%	1397 100.0%
	尾道市	0 0.0%	10 11.3%	13 43.3%	6 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	30 100.0%
	市川市	0 0.0%	17 47.2%	16 44.4%	2 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	36 100.0%
	会津若松市	0 0.0%	6 40.0%	5 33.3%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	15 100.0%
	北上市	1 11.1%	4 44.4%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	45 3.0%	624 42.0%	632 42.5%	84 5.6%	6 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	96 6.5%	1487 100.0%

【全体の傾向】

介護支援専門員が担当する要介護3の利用者数を見ると、「1～4人」と「5～9人」が40%台となっており、他は10%以下となっている。

【所在地別の傾向】

介護支援専門員が担当する要介護3の担当利用者数を見ると、神奈川県は「1～4人」と「5～9人」が40%台で多く、他は10%以下となっている。尾道市は「5～9人」が43.3%ともっとも多く、次いで「10～14人」が20.0%となっている。

⑯ 担当利用者数（要介護4）（F7⑦）

表16 担当利用者数（要介護4）

		F7⑦ 担当利用者数(要介護4)								
		0人	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～24人	25人以上	不明	合計
F1 調査地	神奈川県	105 7.5%	867 62.1%	301 21.5%	11 0.8%	2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	111 7.9%	1397 100.0%
	尾道市	2 6.7%	18 60.0%	7 23.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.0%	30 100.0%
	市川市	3 8.3%	24 66.7%	6 16.7%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.6%	36 100.0%
	会津若松市	0 0.0%	9 60.0%	3 20.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.7%	15 100.0%
	北上市	1 11.1%	6 66.7%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	111 7.5%	924 62.1%	319 21.5%	13 0.9%	2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	118 7.9%	1487 100.0%

【全体の傾向】

介護支援専門員が担当する要介護4の利用者数を見ると、「1～4人」が62.1%を占めており、次いで「5～9人」が21.5%となっている。

【所在地別の傾向】

介護支援専門員が担当する要介護4の担当利用者数を見ると、神奈川全県、尾道市とも「1～4人」が約60%を占めており、次いで「5～9人」がそれぞれ21.5%、23.3%となっている。

⑰ 担当利用者数（要介護5）（F7⑧）

表17 担当利用者数（要介護5）

		F7⑧ 担当利用者数(要介護5)								
		0人	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～24人	25人以上	不明	合計
F1 調査地	神奈川全県	199 14.2%	888 63.6%	152 10.9%	8 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	150 10.7%	1397 100.0%
	尾道市	2 6.7%	22 73.3%	3 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.0%	30 100.0%
	市川市	6 16.7%	23 63.9%	4 11.1%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.6%	36 100.0%
	会津若松市	1 6.7%	9 60.0%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 20.0%	15 100.0%
	北上市	1 11.1%	8 88.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	209 14.1%	950 63.9%	160 10.8%	9 0.6%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	158 10.6%	1487 100.0%

【全体の傾向】

介護支援専門員が担当する要介護5の利用者数を見ると、「1～4人」がほぼ6割を占めている。

【所在地別の傾向】

介護支援専門員が担当する要介護5の利用者数を見ると、神奈川全県、尾道市とも「1～4人」が6～7割を占めている。

⑱ 介護支援専門員連絡協議会等への参加（F8）

【全体の傾向】

介護支援専門員連絡協議会等への参加を見ると、「市区町村の介護支援専門員連絡協議会等に所属」が68.8%と最も多く、次いで「都道府県の介護支援専門連絡協議会等に所属」が31.1%となっている。

【所在地別の傾向】

介護支援専門員連絡協議会等への参加を所在地別に見ると、神奈川県は「市区町村の介護支援専門員連絡協議会等に所属」が68.1%であり、次いで「都道府県の介護支援専門連絡協議会等に所属」が29.1%となっている。

尾道市は、「都道府県の介護支援専門連絡協議会等に所属」と「市区町村の介護支援専門員連絡協議会等に所属」がそれぞれ83.3%となっている。

表 1 8 介護支援専門員連絡協議会等への参加

		F8 介護支援専門員連絡協議会等への参加(複数回答)				
		1 所専日 門本 員介 協護 会支 属に援	2 所絡護都 協支道 議援府 会専県 等門の 属に連介	3 に連護市 絡支区 協援町 所識専村 会門の 属等員介	不 明	合 計
F 1 調 査 地	神 奈 川 全 県	40 2.9%	406 29.1%	951 68.1%	300 21.5%	1397 100.0%
	尾 道 市	5 16.7%	25 83.3%	25 83.3%	1 3.3%	30 100.0%
	市 川 市	4 11.1%	14 38.9%	30 83.3%	5 13.9%	36 100.0%
	会 津 若 松 市	7 46.7%	10 66.7%	8 53.3%	2 13.3%	15 100.0%
	北 上 市	0 0.0%	8 88.9%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	全 体	56 3.8%	463 31.1%	1,023 68.8%	308 20.7%	1487 100.0%

⑬ 回答者の性別 (F 9)

表 1 9 回答者の性別 (複数回答)

		F9 性別(単数回答)			
		1 男 性	2 女 性	不 明	合 計
F 1 調 査 地	神 奈 川 全 県	213 15.2%	1183 84.7%	1 0.1%	1397 100.0%
	尾 道 市	5 16.6%	25 83.3%	0 0.0%	30 100.0%
	市 川 市	4 11.1%	32 88.9%	0 0.0%	36 100.0%
	会 津 若 松 市	4 26.7%	11 73.3%	0 0.0%	15 100.0%
	北 上 市	1 11.1%	8 88.9%	0 0.0%	9 100.0%
	全 体	227 15.3%	1259 84.7%	1 0.1%	1487 100.0%

【全体の傾向】

回答者の性別を見ると、女性が84.7%、男性が15.3%となっており、女性が多数となっている。

【所在地別の傾向】

所在地別に見ると、神奈川全と県尾道市はともに、女性が8割を占めており、男性は神奈川全県は15.2%、尾道市は16.6%となっている。

⑳ 回答者の年齢（F10）

表20 回答者の年齢

		F10 回答者の年齢						
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	合計
F1 調査地	神奈川県	28 2.0%	384 27.5%	436 31.2%	425 30.4%	121 8.7%	3 0.2%	1397 100.0%
	尾道市	0 0.0%	7 23.3%	12 40.0%	10 33.3%	1 3.3%	0 0.0%	30 100.0%
	市川市	1 2.8%	14 38.9%	8 22.2%	11 30.6%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%
	会津若松市	0 0.0%	7 46.7%	6 40.0%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
	北上市	1 11.1%	1 11.1%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	30 2.0%	413 27.8%	467 31.4%	450 30.3%	124 8.3%	3 0.2%	1487 100.0%

【全体の傾向】

回答者の年齢を見ると、「40歳代」が31.4%、次いで「50歳代」が30.3%、「30歳代」が27.8%となっている。

【所在地別の傾向】

所在地別に見ると、神奈川全県と尾道市は全体の傾向と同様であり、「40歳代」がそれぞれ31.2%と40.0%、「50歳代」がそれぞれ0.4%と33.3%、「30歳代」がそれぞれ27.5%と23.3%となっている。

(2) サービス担当者会議の実態

① サービス担当者会議の月間開催回数 (問1)

表2-1 サービス担当者会議の月間開催回数

		問1 サービス担当者会議の月間開催回数								
		0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	不明	合計
F1 調査地	神奈川県	102 7.3%	152 10.9%	244 17.5%	259 18.5%	189 13.5%	150 10.7%	283 20.3%	18 1.3%	1397 100.0%
	尾道市	0 0.0%	3 10.0%	10 33.3%	3 10.0%	3 10.0%	6 20.0%	5 16.7%	0 0.0%	30 100.0%
	市川市	4 11.1%	4 11.1%	1 2.8%	5 13.9%	12 33.3%	5 13.9%	4 11.1%	1 2.8%	36 100.0%
	会津若松市	1 6.7%	0 0.0%	3 20.0%	2 13.3%	0 0.0%	2 13.3%	7 46.7%	0 0.0%	15 100.0%
	北上市	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	107 7.2%	159 10.7%	260 17.5%	270 18.2%	206 13.9%	163 11.0%	303 20.4%	19 1.3%	1487 100.0%

【全体の傾向】

サービス担当者会議の月間開催回数を見ると、「6回以上」が20.4%と最も多く、次いで「3回」が18.2%、「2回」が17.5%となっている。

【所在地別の傾向】

サービス担当者会議の月間開催回数を所在地別に見ると、神奈川県は「6回以上」が20.3%と最も多く、「3回」が18.5%、「2回」が17.5%となっており、全体の傾向と同じになっている。尾道市は、「2回」が33.3%と最も多く、次いで「5回」が20.0%、「6回以上」が16.7%となっている。

② サービス担当者会議の開催場所 (問2)

表2-2 サービス担当者会議の開催場所 (複数回答)

		問2 サービス担当者会議の開催場所(複数回答)									
		1 自利用者 宅の	2 事務あ しな 業てた いが 所る勤	3 ス居 事宅 業サ 業 所ビ	4 施介 護 保 設險	5 療主 所治 、医 病の 院診	6 援地 セ域 ン包 タ括 支	7 (公 民 館 等) の施 設	8 そ の 他	不明	合計
F1 調査地	神奈川県	1133 88.7%	479 37.5%	269 21.1%	180 14.1%	121 9.5%	87 6.8%	11 0.9%	40 3.1%	121 9.5%	1277 100.0%
	尾道市	16 53.3%	8 26.7%	4 13.3%	4 13.3%	27 90.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	30 100.0%
	市川市	29 93.5%	13 41.9%	8 25.8%	6 19.4%	7 22.6%	1 3.2%	0 0.0%	1 3.2%	5 16.1%	31 100.0%
	会津若松市	13 92.9%	2 14.3%	4 28.6%	4 28.6%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	14 100.0%
	北上市	7 77.8%	5 55.6%	4 44.4%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	1198 88.0%	507 37.3%	289 21.2%	197 14.5%	158 11.6%	88 6.5%	11 0.8%	41 3.0%	128 9.4%	1361 100.0%

問2～問8の回答者は問1の条件分岐に従い、平成18年10月中にサービス担当者会議を1回以上開催したケースを母数としている。

【全体の傾向】

サービス担当者会議の開催場所を見ると、「利用者の自宅」が88.0%と最も多く、次いで「あなたが勤務している事業所」が37.3%、「居宅サービス事業所」が21.2%となっている。

【所在地別の傾向】

サービス担当者会議の開催場所を所在地別に見ると、神奈川県は「利用者の自宅」が88.7%と最も多く、次いで「あなたが勤務している事業所」が37.5%、「居宅サービス事業所」が21.1%となっている。尾道市は「主治医の診療所、病院」が90.0%と最も多く、次いで「利用者の自宅」が53.3%、「あなたが勤務している事業所」が26.7%となっている。

③ ケアプランの100%検討数・率（問3）

問3の回答結果をもとに、平成18年10月中に新規作成ケアプランあるいは見直しケアプランがあり、かつ、それらのすべてについてサービス担当者会議で検討したケースの割合（ケアプランの100%検討率）を計算した。なお、検討率の計算にあたっては、回答に空白のないケースのみを計算対象とし、空白のあるケースは計算対象外とした。

表23 ケアプランの100%検討数・率（問3の加工値）

		問3 ケアプラン100%検討数・率(加工値)									
		（完新 経過全 的要作 介検成 護討分	（完新 要支全 介援作 介1検 全1成 規2 作討分	（完新 要介全 介規作 介3検 全5 規成 作討分	（完新 要介全 介規作 介3検 全5 規成 作討分	（完新 全規 全検 全作 全討 全合 全計 全分	（完見 経過全直 的要介 介検し 護討分	（完見 要支全直 介援作 介1検 全1成 規2 作討分	（完見 要介全直 介規作 介3検 全5 規成 作討分	（完見 要介全直 介規作 介3検 全5 規成 作討分	（完見 合全直 合全直 計検し 討分
F1 調査地	神奈川県	14 53.8% n=26	175 88.8% n=197	309 87.3% n=354	260 86.1% n=302	222 83.5% n=266	51 87.9% n=58	203 92.3% n=220	528 84.2% n=627	514 85.4% n=602	366 79.9% n=458
	尾道市	0 0.0% n=0	9 90.0% n=10	9 90.0% n=10	7 77.8% n=9	8 80.0% n=10	1 100.0% n=1	1 50.0% n=2	7 50.0% n=14	9 75.0% n=12	5 45.5% n=11
	市川市	1 33.3% n=3	8 72.7% n=11	7 63.6% n=11	8 66.7% n=12	6 54.5% n=11	0 0.0% n=0	7 87.5% n=8	16 69.6% n=23	18 94.7% n=19	8 53.3% n=15
	会津若松市	0 0.0% n=0	1 100.0% n=1	6 85.7% n=7	2 50.0% n=4	3 75.0% n=4	0 0.0% n=0	1 50.0% n=2	7 70.0% n=10	6 75.0% n=8	3 60.0% n=5
	北上市	1 100.0% n=1	2 66.7% n=3	1 50.0% n=2	2 50.0% n=4	2 66.7% n=3	1 100.0% n=1	4 100.0% n=4	4 100.0% n=4	6 100.0% n=6	6 100.0% n=6
	全体	16 53.3% n=30	195 87.8% n=222	332 86.5% n=384	279 84.3% n=331	241 82.0% n=294	53 85.5% n=62	216 91.5% n=236	562 82.9% n=678	553 85.5% n=647	388 78.4% n=495

※新規作成ケアプラン／見直しケアプランがあり、かつ、それらのすべてについてサービス担当者会議で検討した回答の割合を計算した

【全体の傾向】

ケアプランの100%検討数・率を見ると、新規作成分は、要支援1～要介護5が80%代に、また経過的要介護は53.3%になっている。見直し分は、要支援1～2が91.5%で、経過的要介護と要介護1～5が80%台になっている。

【所在地別の傾向】

ケアプラン100%検討数・率の神奈川県をみると、新規作成分は、要支援1～要介護5が80%台で、経過的要介護は53.8%である。見直し分は、要支援1～2が92.3%で、経過的要介護と要介護1～5が80%台である。

尾道市を見ると、新規作成分は、「要支援1～2」と「要介護1～2」が90.0%で、次いで「要介護3～5」が77.8%である。見直し分は、「経過的要介護」が100%で、「要支援1～2」と「要介護1～2」が50.0%である。

④ 利用者および家族が出席した会議が1回以上ある（問4）

問4の回答結果をもとに、平成18年10月中に1回以上利用者および家族が出席したサービス担当者会議があったと回答したケースの割合を計算した。

表24 利用者および家族が出席した会議が1回以上ある（問4の加工値）

		問4 利用者／家族が出席した会議が1回以上ある(加工値)	
		回し利 以た用 以上会者 議が出 あが出る る1席	あ以た家 会族 議が出 が出席 1席 る上回し
F 1 調 査 地	神 奈 川 全 県	1140 89.3%	1122 87.8%
	尾 道 市	26 86.7%	27 90.0%
	市 川 市	29 93.5%	28 90.3%
	会 津 若 松 市	14 100.0%	14 100.0%
	北 上 市	8 88.9%	7 77.8%
	全 体	1217 89.4%	1198 88.0%

【全体の傾向】

平成18年10月中に「利用者が出席した会議が1回以上ある」と答えたケースの割合は、89.4%である。また、「家族が出席した会議が1回以上ある」と答えたケースは88.0%となっている。

このように、利用者と家族の出席率は、ともに9割前後に達する。

【所在地別の傾向】

「利用者が出席した会議が1回以上ある」と回答したケースの割合を所在地別に見ると、神奈川県は89.3%、尾道市は86.7%となっている。

「家族が出席した会議が1回以上ある」と回答したケースの割合を所在地別に見ると、神奈川県は87.8%、尾道市は90.0%となっている。

平成17年度の調査では、神奈川県における利用者の出席率と家族の出席率はともに6割台であったが、平成18年度調査では尾道市と同程度の水準になっている。

⑤ 事前に共有した情報（問5①）

表25 事前に共有した情報（複数回答）

	問5① 事前に共有した情報(複数回答)												不 明	合 計
	1 主 用 者 訴 の	2 家 族 の 主 訴	3 やD D L L L 用 意の 者 状I の 化況A A	4 状 要 利 介 護 者 認 者 の 況定の	5 情 病 利 に 用 関 者 す の 報る疾	6 生 利 用 活 者 歴の	7 生 利 用 活 者 況の	8 経 利 済 用 活 者 況の	9 処 や 医 療 的 方 法 的 知 識 対 峙	10 対 問 生 活 方 へ 上 昇 の 計 の	11 介 護 の 方 針	12 検 の ケ ア プ ラ ン の 確 定 有 ら ん		
神 奈 川 全 県	924 72.4%	878 68.8%	925 72.4%	982 76.9%	867 67.9%	673 52.7%	822 64.4%	471 36.9%	514 40.3%	507 39.7%	543 42.5%	529 41.4%	189 14.8%	1277 100.0%
尾 道 市	27 90.0%	26 86.7%	27 90.0%	27 90.0%	26 86.7%	22 73.3%	25 83.3%	16 53.3%	11 36.7%	16 53.3%	21 70.0%	13 43.3%	1 3.3%	30 100.0%
市 川 市	23 74.2%	23 74.2%	23 74.2%	26 83.9%	22 71.0%	13 41.9%	20 64.5%	15 48.4%	12 38.7%	10 32.3%	11 35.5%	8 25.8%	5 16.1%	31 100.0%
会 津 若 松 市	10 71.4%	9 64.3%	12 85.7%	13 92.9%	12 85.7%	6 42.9%	8 57.1%	8 57.1%	8 57.1%	9 64.3%	10 71.4%	6 42.9%	1 7.1%	14 100.0%
北 上 市	8 88.9%	7 77.8%	7 77.8%	6 66.7%	7 77.8%	6 66.7%	6 66.7%	2 22.2%	6 66.7%	3 33.3%	3 33.3%	3 33.3%	1 11.1%	9 100.0%
全 体	992 72.9%	943 69.3%	994 73.0%	1054 77.4%	934 68.6%	720 52.9%	881 64.7%	512 37.6%	551 40.5%	545 40.0%	588 43.2%	559 41.1%	197 14.5%	1361 100.0%

【全体の傾向】

サービス担当者会議の開催にあたり、事前に共有した情報を見ると、「利用者の主訴」、「利用者のADL、IADLの状況や変化」、「利用者の要介護認定状況」が70%台となっており、続いて「家族の主訴」、「利用者の疾病に関する情報」、「利用者の生活状況」が60%台となっている。

【所在地別の傾向】

サービス担当者会議の開催にあたり、事前に共有した情報を所在地別に見ると、神奈川県は「利用者の主訴」、「利用者のADL、IADLの状況や変化」、「利用者の要介護認定状況」が70%台となっており、続いて「家族の主訴」、「利用者の疾病に関する情報」、「利用者の生活状況」が60%台となっている。

尾道市は「利用者の主訴」、「利用者のADL、IADLの状況や変化」、「利用者の要介護認定状況」が90%台となっており、続いて「家族の主訴」、「利用者の疾病に関する情報」、「利用者の生活状況」が80%台となっている。また、尾道市では70%の介護支援専門員が事前に「介護の方針」を事前に共有していることが特徴的である。

⑥ 会議で共有した情報（問5②）

【全体の傾向】

サービス担当者会議において共有した情報を見ると、「介護の方針」、「ケアプランの共